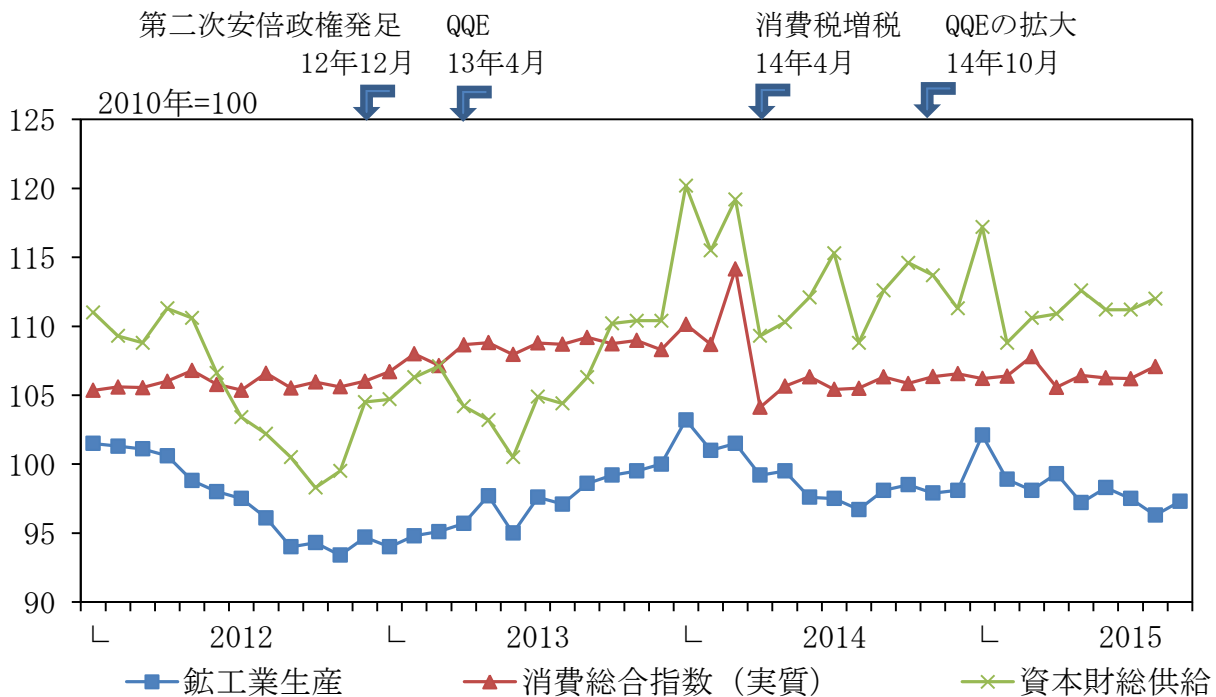


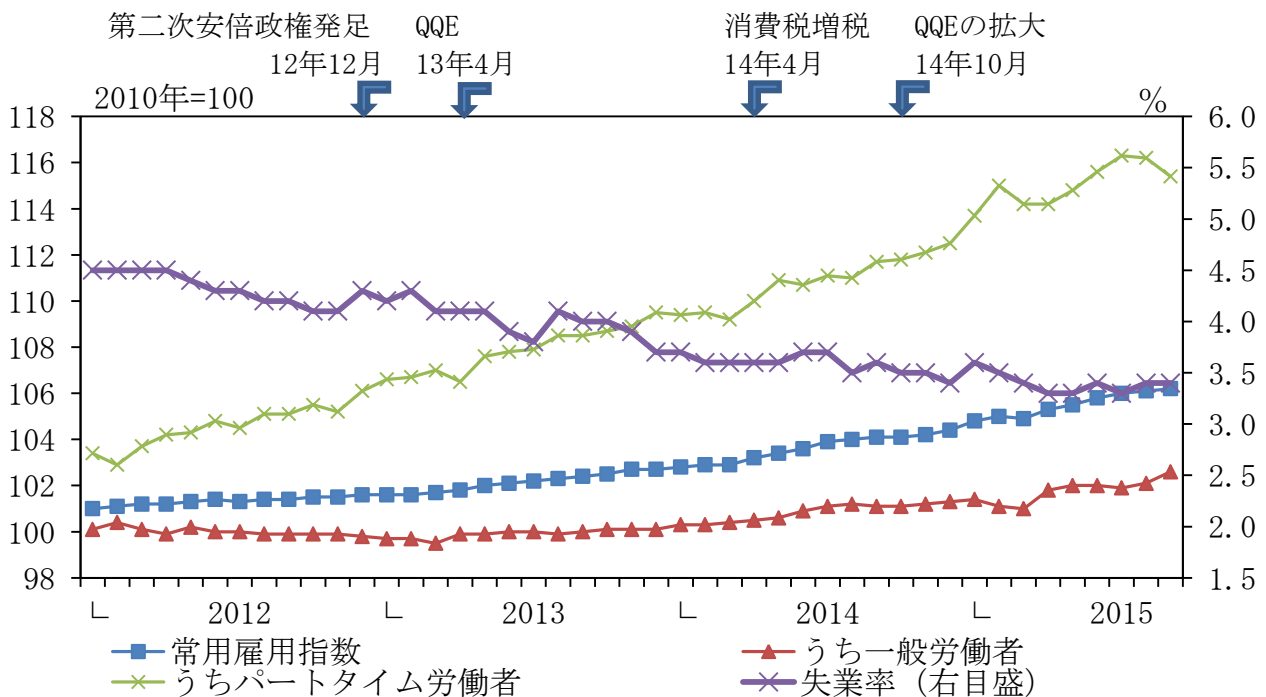
図表1 生産、消費、投資の動き



(注) 季節調整値。

(出所) 経済産業省「鉱工業指数統計」「鉱工業総供給表」、内閣府「消費総合指数」

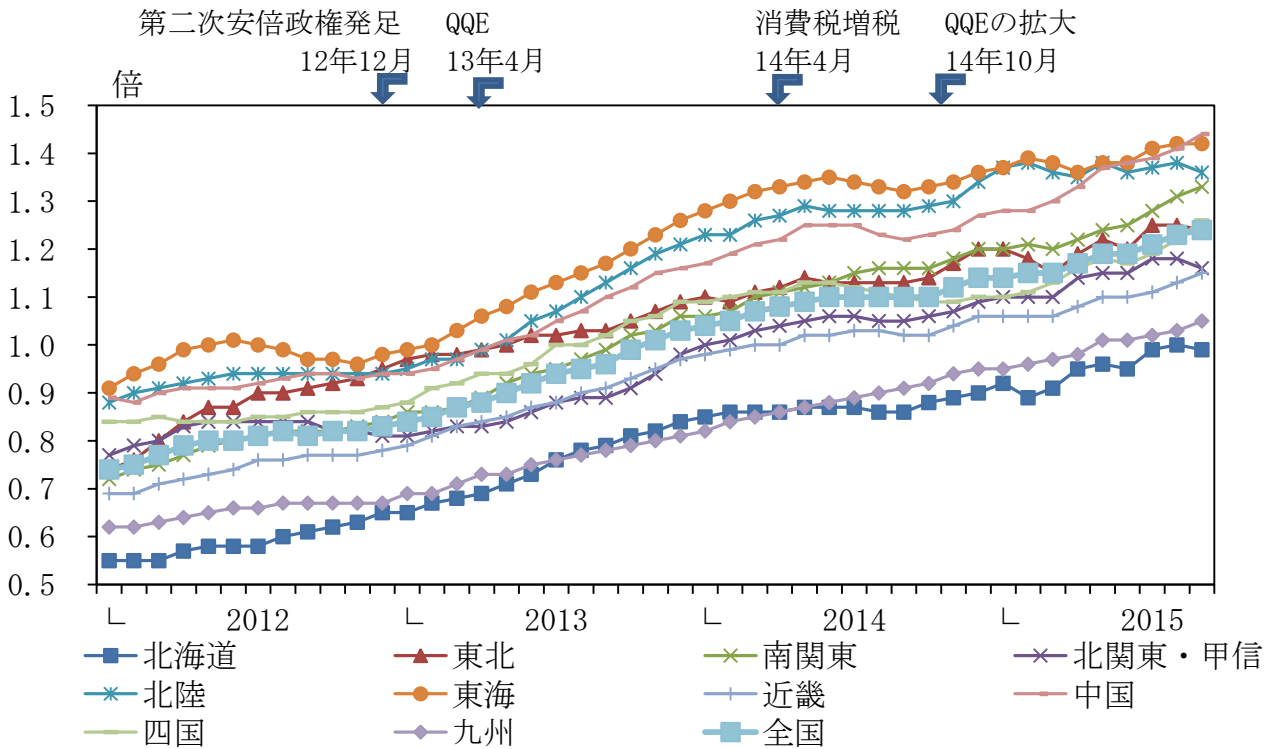
図表2 雇用指数と失業率



(注) 季節調整値。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「労働力調査」

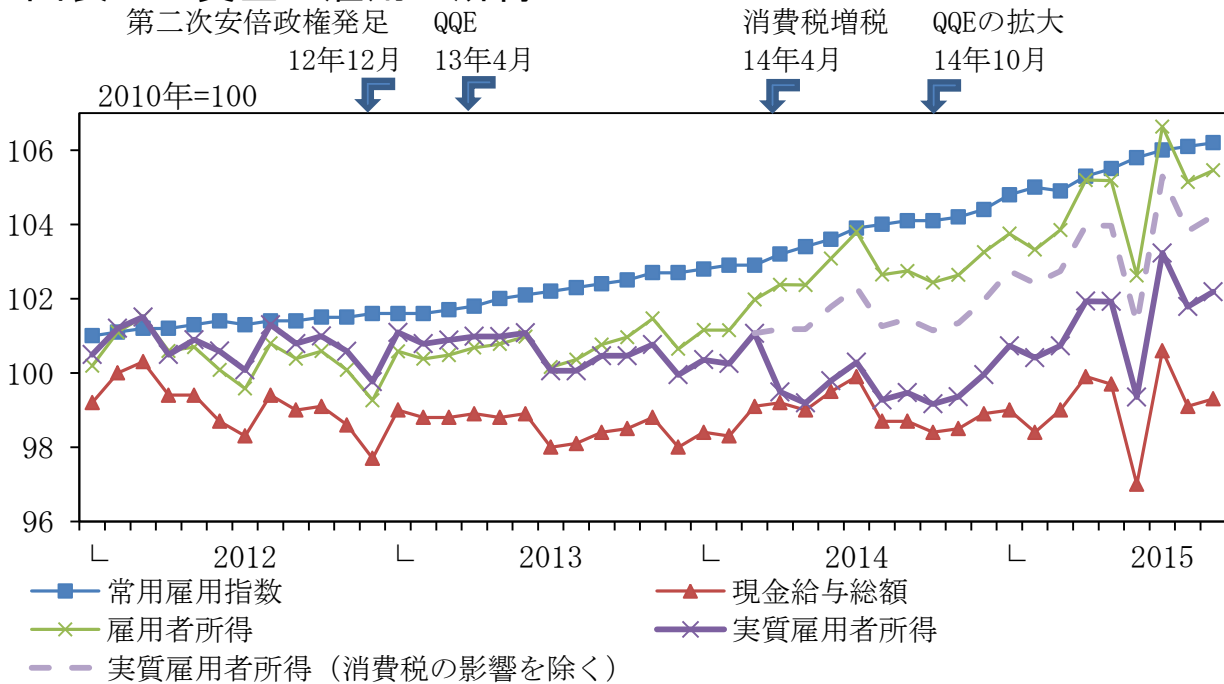
図表3 地域別有効求人倍率



(注) 季節調整値。

(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

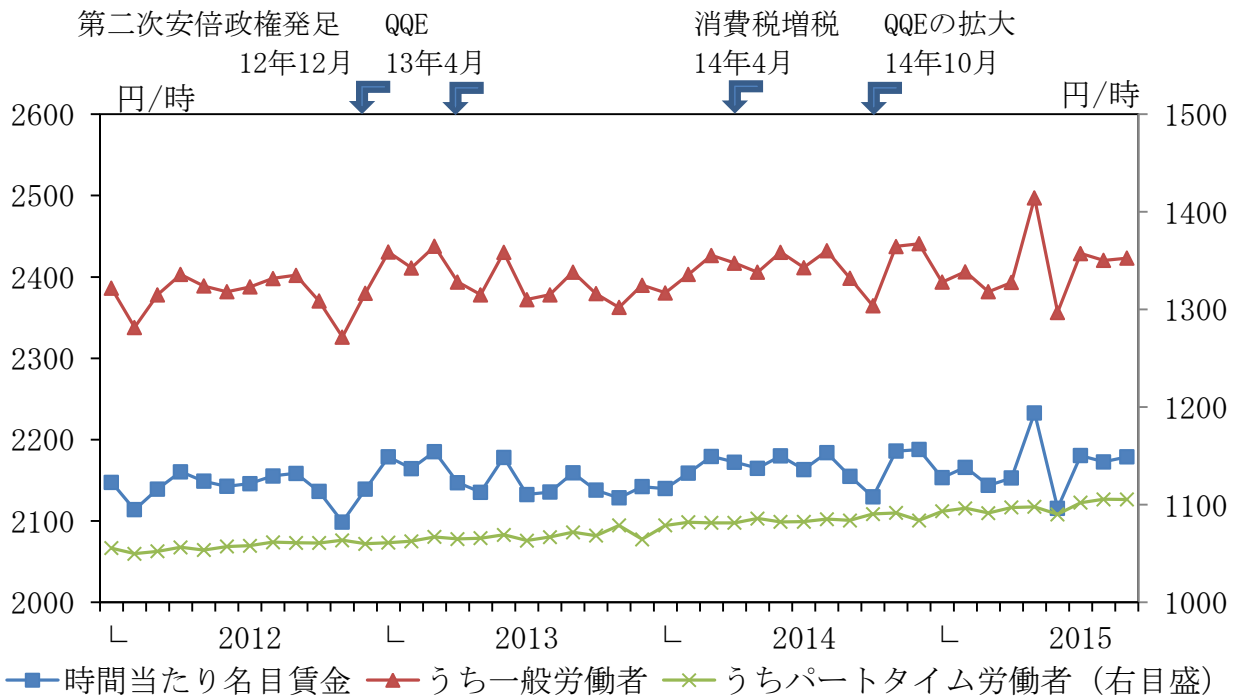
図表4 賃金と雇用と所得



(注) 季節調整値。雇用者所得は常用雇用に現金給与を乗じて算出。実質化は消費者物価指数(総合除く生鮮)で除して算出。

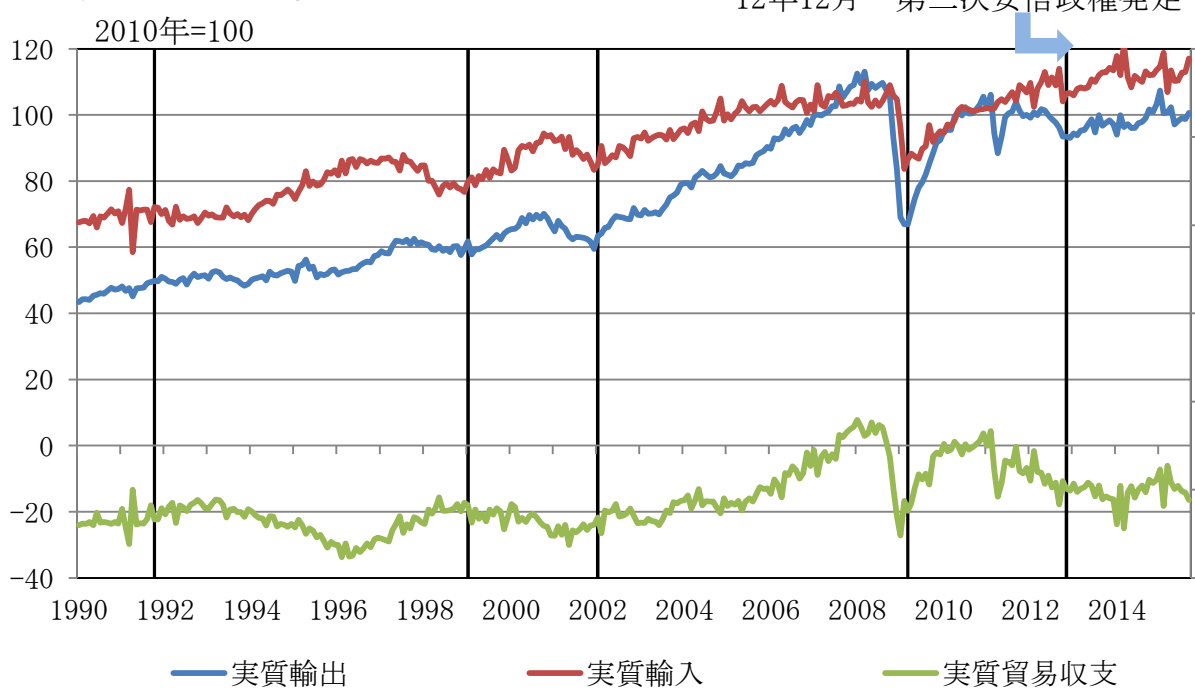
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「消費者物価指数」「家計調査」

図表5 時間当たり名目賃金



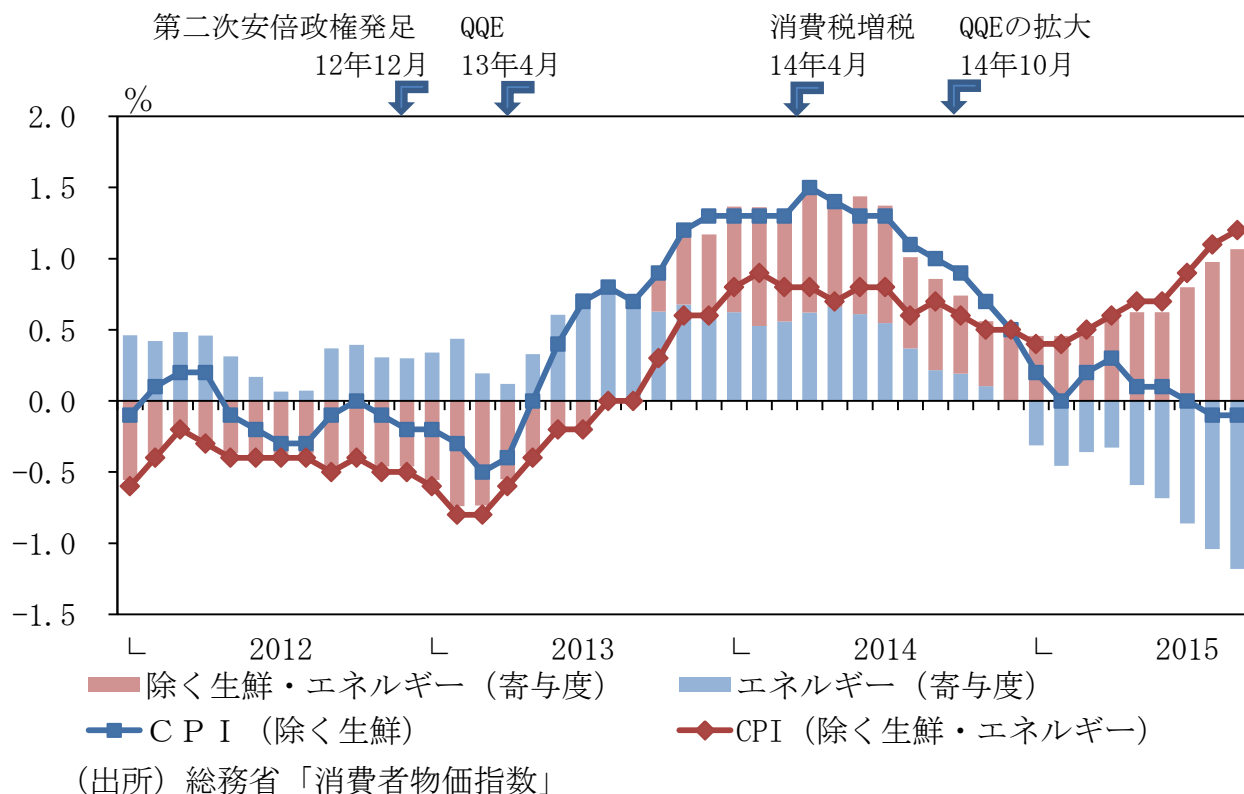
(注) 時間当たり賃金=現金給与総額÷総実労働時間。X-11による季節調整値。  
 (出所) 厚生労働省「毎月勤労統計」

図表6 実質輸出入

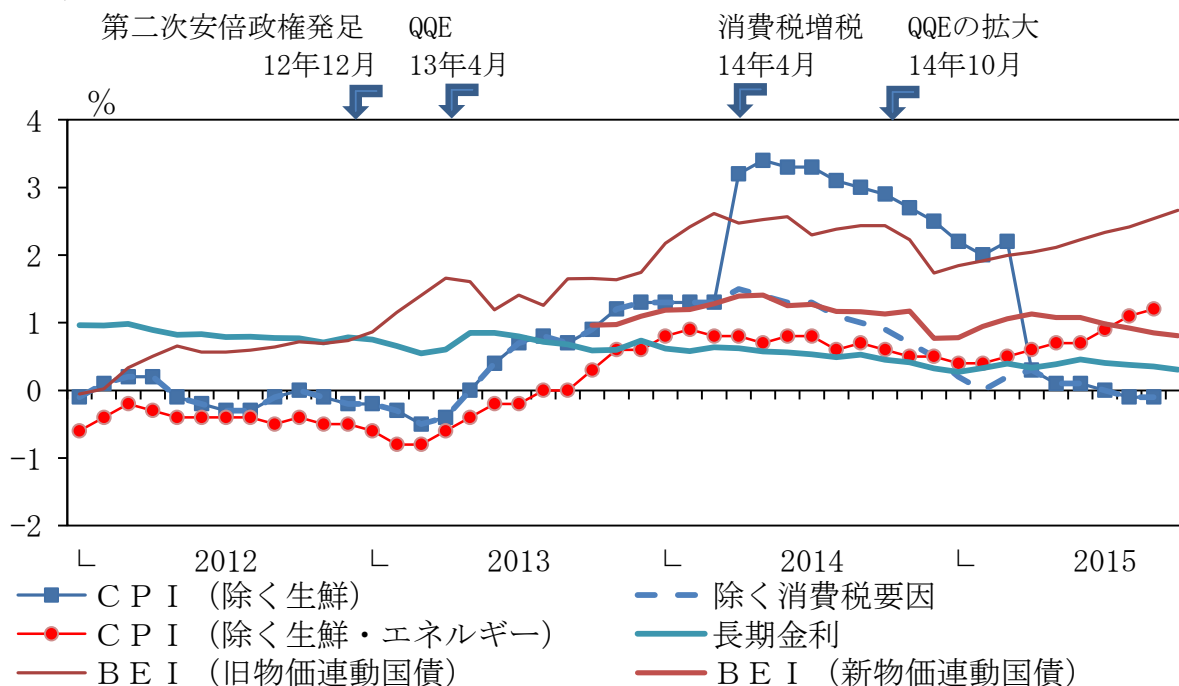


(注) 実質貿易収支は実質輸出指数と実質輸入指数の差。縦の線は、景気の谷を示す。  
 (出所) 日本銀行「実質輸出入」

図表7 CPI（除く生鮮）前年比の分解



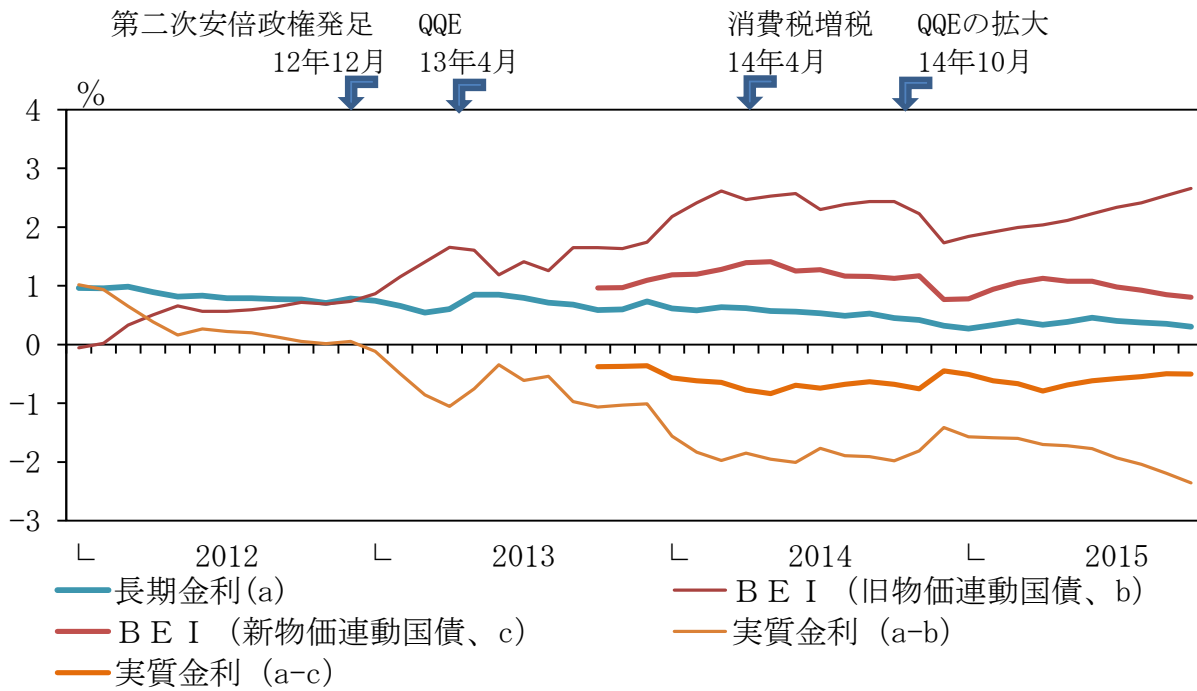
図表8 CPI前年比とBEI



(注) CPI（除く生鮮・エネルギー）は消費税要因も除いている。

(出所) 総務省「消費者物価指数」、ブルームバーグ

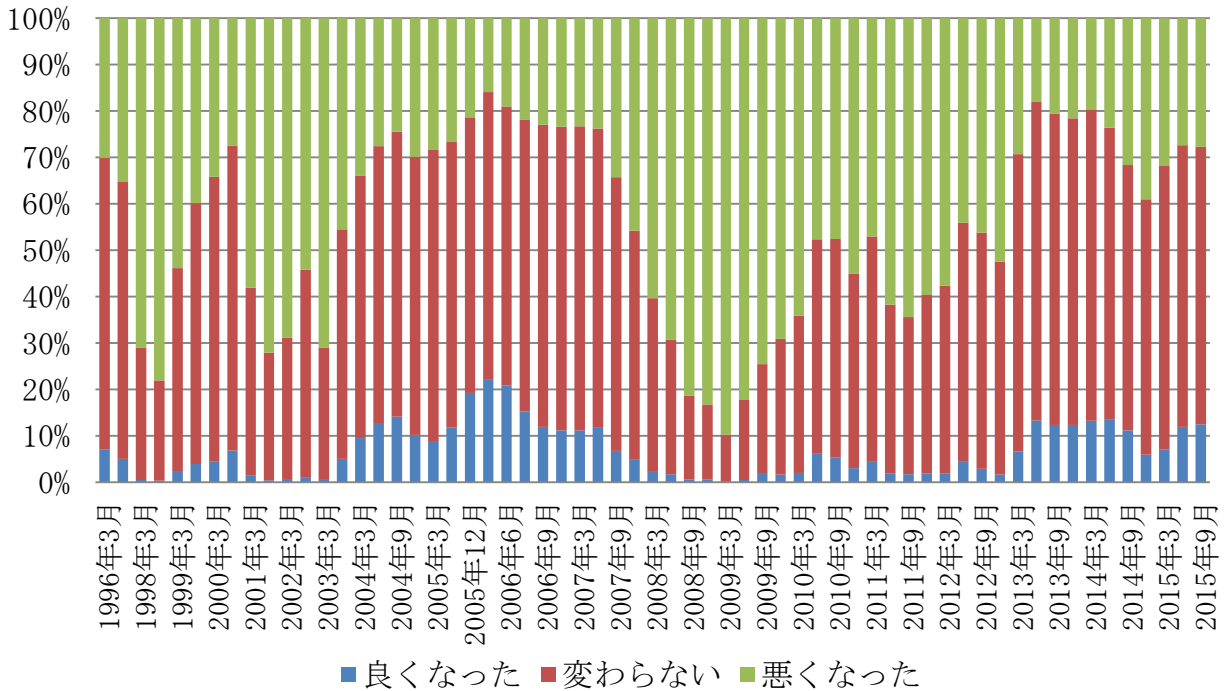
図表9 BEIと実質金利



(出所) 総務省「消費者物価指数」、ブルームバーグ

図表10 景気の実感

「1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか」という問いへの答え



(出所) 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」

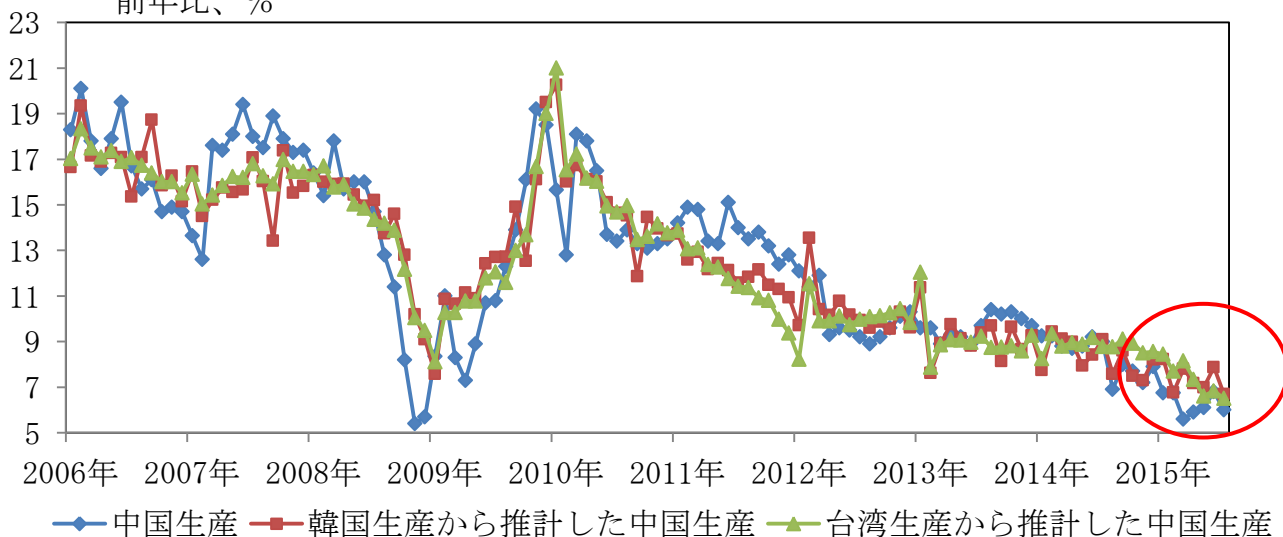
図表 1 1 展望レポートの経済・物価見通し（2015年10月）

— 政策委員見通しの中央値、対前年度比、%

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	消費税率引き上げの 影響を除くケース
2015年度	<u>1.2</u>	<u>0.1</u>	
7月時点	1.7	0.7	
2016年度	<u>1.4</u>	<u>1.4</u>	
7月時点	1.5	1.9	
2017年度	<u>0.3</u>	3.1	<u>1.8</u>
7月時点	0.2	3.1	1.8

図表 1 2 中国の生産

前年比、%



(注) 図中の推計値は以下の回帰式（推計期間は2005/9月～2015/7月）から算出。

$$\text{中国の生産} = 15.82 + 0.21 \times \text{韓国の生産} - 0.071 \times \text{トレンド} \quad \langle \text{adj-R}^2 = 0.79 \rangle$$

(41.93) (10.78) (-14.18) ( )内はt値

$$\text{中国の生産} = 17.05 + 0.13 \times \text{台湾の生産} - 0.085 \times \text{トレンド} \quad \langle \text{adj-R}^2 = 0.80 \rangle$$

(51.74) (11.18) (-18.27) ( )内はt値

(出所) CEIC